

第 37 回

オンライン読書会 (24) (ZOOM)

<参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会&忘年会>

「おんなどおとこの工夫 生涯を連れ添うために」

2022.4.26 開催



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
オンライン読書会を開催しています。

★ テキスト・テーマ

- ・「春の思い出、私の泣き笑い」～自己紹介～
- ・浮気について 探偵サイトから:NET 記事
- ・すごい家事 せっかちかあさん「夫婦のかたち」

宝島 books



★ 参加者 : 10名 (女性6名、男性4名)

★ 参加者の感想

4月の読書会は10人も参加され、盛会でした。

最初は、自己紹介を兼ねて「春の泣き笑い」のエピソード紹介。各々の春の思い出を語っていただきました。甘酸っぱい少年時代、青春時代の思い出、マタニティブルー、産後うつという言葉が無かった時代の不安な心理、お子さんが小さい頃の事故、そして今もなお変わらぬ母の思い。夫からのプレゼントにジャパネットたかたははありかなしか。(私はありだと思いますよ。☺)

次に探偵事務所のネットレポートより、「浮気をする心理について」のテーマトーク。いつも感心するのは、ファシリテーターの M さんが「ご意見ある方」ひとたびボールを投げると、ボールを最初にキャッチされる方がちゃんといらして、次々にボールが回っていく中で議論が深まっていくこと。女性も体が目的もありうるとボールが投げられれば、心は伴わないが体が欲してしまう関係に悩み相談に来られる女性は少なかつたとの報告が続きまして、長谷川先生から、「倫理観があるから悩むのだ」と。また、性は効率の良いストレス解消法でもあるという視点も提示されました。S さんからは、男性はこうで女性はこうだという一律に定義はしづらい。浮気の兆候に関する大変示唆に富んだ自己開示からのお話があり、このような生の話がこの読書会の醍醐味なのだと感動を覚えました。

長谷川先生からは、「女性だって浮気する！」と断言する著名な女性論者や寂静さんの言葉から、ではその心身の欲求をどのように満たしていくのか？と問題提起がなされました。我々が持つ解決策の一つはこの国の女性の社会経済的地位を含む政策と、

もう一つは家族カウンセリング協会が中心となり、カップルカウンセリングを生かした「リマリッジ法」をともに広めること。というところにボールはおさまりました。



次のテーマトークは、5人の子供と6匹の猫がいて家庭を切り盛りしている主婦の著書から。夫婦の関係に学ぶところが多くあり、例えば我慢しないで小さな喧嘩をすること、この効果は米国の研究とも重なっています。お互い自分の考えが正しいと思っているので話し合っ

ても解決しないときは、一人になり、時間がたつと忘れる効果を利用しています。読書会メンバーの中でもKさんはこの主婦に通じるものがあると、Kさんの実践に興味が集まりました。読書会や協会でのご自身の学びがご夫婦の関係に生かされているとのこと。「まずは自分からリマリッジ法」の姿勢、見習いたいです。

今後の課題としては、母乳をあげているときは雄を避ける哺乳類としての特徴を持つ女性にリマリッジ法は何が提案できるか。ということでした。

この世から浮気という言葉が無くなる日が来ることを目標に、誰もが幸せな夫婦になれるように、結婚前カウンセリングやその後のカップルカウンセリングが市民権を得られるといいですね。協会の役割、読書会の存在意義は大きいなとしみじみ思いました。長谷川先生のロビー活動と我々の広報活動や実践の両輪で、家族カウンセリングのこを知っていただけるよう盛り上げていきたいですね。

まずは自分から、と実践したいところですが、一筋縄ではいかぬこじらせパートナーとの関係に、これからも悩みながら学んでいくのだと思います。

(家族相談士 大西明子)

<オンライン読書会はいかがでしょう？>



阿佐ヶ谷の洒落たお店でのお茶会は、しばらくおあずけですが、長谷川理事長のご講義が画面から溢れてくるオンタイムのゼミナールもまた必見！夫婦生活につまづいている方はもちろん？円満な方やおひといさまのお知恵も拝借しながら、おんなとおとこが添い遂げる工夫を、家族カウンセリングの視点から学び合しましょう。協会員なら、どなたでもこのオンライン読書会にご参加できます。

★次回は第38回 5月14日(土) 20:30 ZOOM開催です。

毎回 理事長ご提案のテーマで話し合います。

会員の皆さま、奮ってご参加くださいね！